

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成23年>>

<週報> 第37週 (平成23年 9月12日 ~ 9月18日)

発行日: 平成23年9月22日

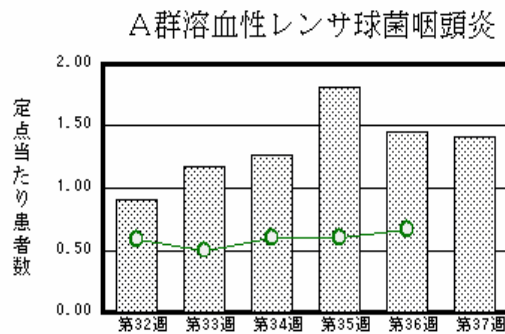
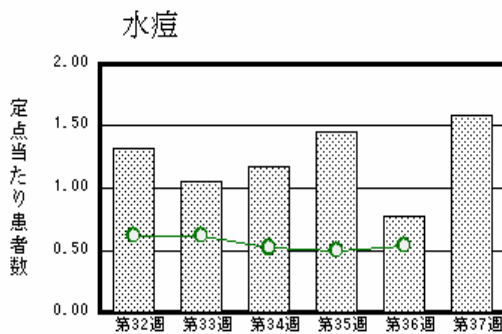
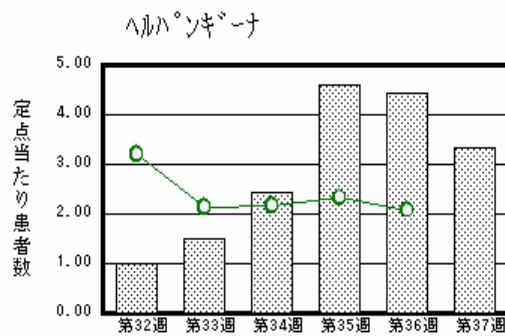
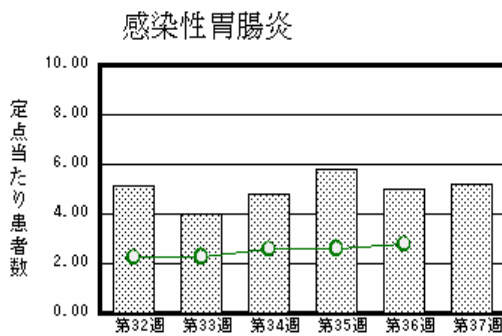
発行: 福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎114名(5.18名) ヘルパンギーナ73名(3.32名) 水痘35名(1.59名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎31名(1.41名) 手足口病23名(1.05名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(114名) ヘルパンギーナ(73名) 水痘(35名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(31名) 手足口病(23名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は114名です。定点当たり報告数は増加しました(5.00名 5.18名)。地域別にみると、福井地区7.43名、丹南地区6.80名、二州地区6.00名、奥越地区2.50名、坂井地区1.67名の順となっています。
4. 【ヘルパンギーナ】報告数は73名です。定点当たり報告数は減少しました(4.45名 3.32名)。地域別にみると、坂井地区8.33名、丹南地区5.00名、福井地区2.14名、若狭地区1.50名、奥越地区1.50名、二州地区0.67名の順となっています。
5. 【水痘】報告数は35名です。定点当たり報告数は増加しました(0.77名 1.59名)。地域別にみると、丹南地区4.60名、若狭地区1.50名、福井地区1.00名、二州地区0.67名の順となっています。
6. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は31名です。定点当たり報告数は減少しました(1.45名 1.41名)。地域別にみると、奥越地区5.50名、二州地区2.33名、坂井地区2.00名、丹南地区0.60名、福井地区0.57名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2011年第35週号(8月29日~9月4日)要点

発生動向総覧	<第35週> 手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
注目すべき感染症	<細菌性赤痢> 第35週までの累積報告数は175例で、Shigella sonnei 国内感染例は第35週も18例が報告された<RSウイルス感染症>第35週の報告数は1,242例と2004年以降の同時期の報告数としてはこれまでで最も多い
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2011年 / 麻疹ウイルス2011年
速報	麻疹しん疑い症例検体から分離された風疹ウイルス - 堺市
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核2名の報告がありました。
(なお、結核は第36週に2名の報告がありました。)
- 3類感染症: 報告はありませんでした。
- 4類感染症: 報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象: 報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成23年 第37週 平成23年9月12日(月)～平成23年9月18日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(36週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)									58 0.01
小児科 (22)	RSウイルス感染症	17 2.43		1 0.33			1 0.20	19 0.86	15 0.68	1321 0.42
	咽頭結膜熱	3 0.43			1 0.50	8 4.00	2 0.40	14 0.64	16 0.73	1002 0.32
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.57	6 2.00	7 2.33		11 5.50	3 0.60	31 1.41	32 1.45	2089 0.67
	感染性胃腸炎	52 7.43	5 1.67	18 6.00		5 2.50	34 6.80	114 5.18	110 5.00	8667 2.77
	水痘	7 1.00		2 0.67	3 1.50		23 4.60	35 1.59	17 0.77	1687 0.54
	手足口病	5 0.71	6 2.00	4 1.33	1 0.50	4 2.00	3 0.60	23 1.05	48 2.18	12974 4.14
	伝染性紅斑			2 0.67				2 0.09	2 0.09	1054 0.34
	突発性発しん	2 0.29	2 0.67	3 1.00		1 0.50	4 0.80	12 0.55	8 0.36	2184 0.70
	百日咳									93 0.03
	ヘルパンギーナ	15 2.14	25 8.33	2 0.67	3 1.50	3 1.50	25 5.00	73 3.32	98 4.45	6514 2.08
流行性耳下腺炎	1 0.14						1 0.05	2 0.09	2049 0.65	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*	*				120 0.18
	流行性角結膜炎	1 0.50						1 0.33		502 0.74
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	2 1.00						2 0.33		11 0.02
	無菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17		30 0.07
	マイコプラズマ肺炎	6 3.00						6 1.00	6 1.00	330 0.72
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									16 0.03
	インフルエンザ(入院患者数)									3 0.01

インフルエンザは、小児科定点+内科定点
細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

*欄には定点はありません

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成23年第37週 平成23年9月12日(月)～平成23年9月18日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	インフル ンザ(入院 患者数)	
～5ヶ月		～5ヶ月	9			1				2		1		～5ヶ月								
～11ヶ月		～11ヶ月	5			14	2	4		5		9		～11ヶ月								
1歳		1歳	5	3		21	2	5		5		19		1歳						1		
2歳		2歳			1	17	15	4				17	1	2歳								
3歳		3歳		1	3	13	8	5				10		3歳								
4歳		4歳		4	3	9	6	2				9		4歳								
5歳		5歳		2	5	4	1	1	1			3		5歳						1		
6歳		6歳		2	3	3	1					1		6歳								
7歳		7歳		1	5	2						2		7歳								
8歳		8歳			5	5		1	1					8歳						1		
9歳		9歳			1	5		1				2		9歳						2		
10～14歳		10～14歳		1	2	14								10～14歳								
15～19歳		15～19歳			1	2								15～19歳								
20～29歳		20歳以上			2	4								20～29歳								
30～39歳														30～39歳				1				
40～49歳														40～49歳						1		
50～59歳														50～59歳								
60～69歳														60～69歳		1						
70～79歳														70歳以上			2					
80歳以上																						
合計		合計	19	14	31	114	35	23	2	12		73	1	合計		1	2	1	6			
前期計		前期計	15	16	32	110	17	48	2	8		98	2	前期計					6			
当期間/前期	***	当期間/前期	1.27	0.88	0.97	1.04	2.06	0.48	1	1.5	***	0.74	0.5	当期間/前期	***	***	***	***	1	***	***	
増減数		増減数	4	-2	-1	4	18	-25		4		-25	-1	増減数		1	2	1				

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき